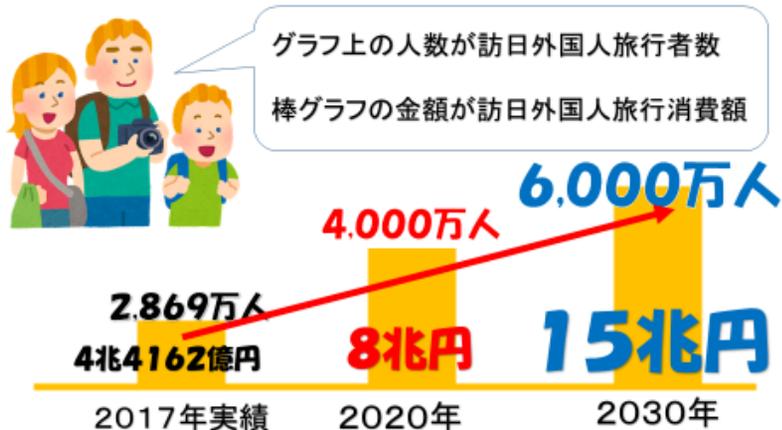


インバウンドに対応した 情報提供が重要です！

安倍政権「明日の日本を支える観光ビジョン」



インバウンドは日本において数少ない成長産業
政府が政策を、企業が施策を推し進めていく

ビッグイベント2連発 インバウンドの大波がやってくる

第9回ラグビーワールドカップ開催

2019年9月20日～11月2日 全国12の会場で試合



2015年第8回イングランド大会は
250万人がスタジアムで観戦
TVやネットを通じて40億人が観戦



そして、2020年 オリンピック・パラリンピック開催

2019年にラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人旅行者が日本を訪れることが見込まれています。

政府は、「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、訪日外国人旅行者数を2020年は4000万人、2030年には6000万人を目指して、インバウンド拡大の取り組みを推し進めています。

年々拡大していく訪日外国人旅行者に対して、台風や地震などの災害時の対応や情報提供の在り方が課題となっています。

JR西日本は「駅構内でも改札から離れた場所に滞留している方への情報提供」「観光地や宿泊施設等、駅以外に滞在している方への情報提供」を新たな課題として、**駅以外での情報提供の充実に向けて取り組むことや、自治体や観光案内所と連携し、運行情報の周知を強化していくこと**を発表しました。(JR西日本HP 10月定例社長会見より)

台風接近に関する運行情報について、改善を求める意見が多数寄せられています。**お客さまが安心してご利用いただくために、JR東日本会社は職場の意見を真摯に受け止め、課題を解決するべきです！**